

大洲を耕す「人」

アグールビト

AGURUBITO TSUUSHIN

第4号



-Pick up!- =AGURUBITO=

No.14 NISHIYAMA TAKAHIRO

No.13 FUJITA YOSHIHIRO

No. 7 NAKAGAWA FUTOSHI

プレゼント企画

詳しくは裏面へ！

14.

西山 貴大

NISHIYAMA TAKAHIRO



AGURUBITO'S Inheritance!

栽培技術を継承し おいしい野菜を作る

OZU NO. **14.** 西山 貴大
AGURUBITO

年齢 / 27歳 エリア / 五郎、東大洲 販売先 / JA、愛たい菜、ショッパーズ

作物 / ラディッキオ、スイカ、白菜、栗カボチャ、ブロッコリー、キャベツ



Instagram

親のようにおいしい野菜を作りたい

両親が農業を営んでおり、私も小学校の頃から作業を手伝ってきました。両親の作る白菜やスイカなどの野菜が、本当に美味しく、感動したのを覚えています。自分自身でもこんなにおいしい野菜を作りたいと漠然と思っていましたが、高校生になり、親の農業の技術のすごさや農業経営がわかってくるにつれて、本格的に就農することを決意しました。

高校卒業後は、愛媛県の農業大学校に進学して2年間農業を学び、Uターン後独立して経営を開始しました。最初はわからないことばかりでしたが、経営を開始してから5年が経ち、新しいことにも挑戦できるようになりました。



好きな作業は除草作業

私の行う農業は、ハウスなどを用いない露地野菜です。その中でも、おいしい野菜を作るために重要な作業が除草作業なのですが、専用の鎌で畝の草を削ったり、トラクターで圃場をきれいにする作業が、なぜか好きなんです。

農業には、しんどいし汚いのに儲からないというイメージがあると思います。実際に上手にやればやるほど収入も増えますし、今は電動の機械なども増えてきていますので、私自身も今後はそういったものも導入して、農業のイメージを変えていきたいですね。



おいしいと言われることが一番のやりがい

五郎地域等で栽培をしていますが、昼夜の気温の寒暖差や豊富な水が確保できる環境、土地に合った栽培技術が受け継がれてきていることで、おいしい野菜が作れます。まずは、親の栽培技術や環境を継承していきたいと思っています。

今では、直接お客様からおいしいと言ってもらうこともあり、それがこの仕事をする上で一番のやりがいになっています。これからも環境に合わせたおいしい野菜を選び、丁寧に作っていきます。

新たなことにもチャレンジ

昨年度から、アグルビトのメンバーを含む農家とJA、市などと連携し、新たに西洋野菜の「ラディッキオ」の栽培を開始しました。10月下旬から今シーズンの収穫を開始する予定なのですが、地元の飲食店と連携して新メニューを開発するなどのプロジェクトも進行中ですので、お楽しみに！今後も多様な人間関係を構築し、販路を拡大したり、結果として多くの方に農業の面白さを知ってもらいたいですね。

また、将来的には消費者と近い形で販売もしたいので、畑で買える販売所などの設置も考えたりしています。



OZU
AGURUBITO

13.

藤田 祥広

FUJITA YOSHIHIRO

AGURUBITO'S *Food!*

食の大切さを
農業を通じて伝えたい

OZU NO. 13. 藤田 祥広
AGURUBITO

年齢 / 28歳 エリア / 五郎、東大洲 販売先 / JA、愛たい菜、飲食店・加工業者

作物 / ラディッキオ、さつまいも、ズッキーニ、スイカ、バターナッツかぼちゃ



Instagram

生きていく上で大切なのは「食」

両親が農業を営んでいたことから、小さい頃から生産物を身近に感じていました。そして、進学した北海道の大学では、農業サークルで食の大切さを伝えるイベントをしたり、その後生産物を2次加工をする会社で勤務するなど、食に関わってきました。

そのような経験を経て、便利になることと引き換えに人と農が離れていくということを感じ、一方で人が生きる上で絶対に必要な食とそれを支える農業が重要であること、私自身がおいしいものを食べるのが本当に好きであるということを再確認し、農業を営むことを決めました。3年前に大洲市にUターンし、今年から自身の経営を始めています。



まずは自分が農業経営者へ

大切な食を伝え、未来に繋げるために、私自身が農業経営者となって、できることをしていこうと思っています。

まず、地域にあるスイカなどの既存の基盤作物について、栽培技術や品質をしっかりと継続していきます。

次に、新たに始めたラディッキオを成功させることです。これはJAや行政、種苗会社などと連携して取り組んでおり、今後、新たな品目を開始する場合のモデルケースになるのではと考えているからです。

いずれは耕作放棄地を活用し、作付面積を増やして市内外の雇用を増やしたいと思っています。受入れのため、地域内の空き家の掃除も始めています。最終的には、なりたい職業ランキングに農業が入ることや、農業体験を通して体験者が仕事にやりがいを持つきっかけになるなど、そんなことを夢見ながら、一歩ずつ今できることに励んでいきます。



地域で未来を創っていく

おいしいものを消費者に届けるために、地元の飲食店や加工業者とも連携しています。

さつまいもは、今回生産するものから玉井民友商店さんの新商品で取り扱ってもらえるようになりました。実はこの関係はそれぞれの親から続いているそうです。地域全体で良いものを作り、豊かな食を届けていきたいですね。

10月からは市内のスーパー等での取り扱いも開始されます。素材の味を活かした商品となっていますので、ぜひお試しください。



●さつまいもの甘夏煮

さつまいも（紅はるか）と甘夏を合わせ、風味良く甘やかに煮込み、橙果汁も加え、後口もさっぱりと爽やかです。

●さつまいも -混ぜご飯の素-

さつまいも（紅はるか）を、ちりめん出汁と、醤油ベースの調味液に漬けておき、炊き立てのご飯に混ぜるだけ。



玉井清庵
Online shop

OZU
AGURUBITO

7.

中川 太志

NAKAGAWA FUTOSHI



AGURUBITO'S Hobby!

仕事や趣味を通して
喜んでもらいたい

OZU NO. 7. 中川 太志
AGURUBITO

年齢 / 35歳

エリア / 蔵川

販売先 / 食肉加工業者

作物 / 養豚



小学校から養豚業を志す

両親が養豚業をしていることもあり、幼稚園のときから養豚場に通い、小学校のときからは手伝いをしていました。親からは家業を継がなくてもよいと言われていましたが、自然と養豚業に憧れがあり、小学校の自身の夢の発表で「養豚業に就く」と話したことを覚えています。

中学校の恩師からの勧めもあり、高校は野村高校の畜産科に進学し、畜産の基礎を学びました。その後、養豚の盛んな宮崎県にある養豚場で2年間勤務し、大規模な養豚経営方法や人との付き合い方などを学んだ後、Uターンして実家の養豚に就業しました。



喜んでもらうことが好き

養豚は生き物を相手にしていることから、あまり休みはありませんが、その分趣味を大事にしています。

特に高校時代は報道部に所属していたこともあり、地元の運動会を撮影させていただいたこともありました。旅行に行っても趣味で記録係ですね。

また、軽トラのデコレーションにもものすごくこだわっています！そのせいでどこにいるかすぐ知られてしまいますが…

また、食べ物を作って人に喜んでもらうことも好きで、和菓子を作って仲間に食べてもらったり、青年農業者協議会の餅つきイベントでも、スタッフ用の食事として豚肉を用いたカレーを本気で作っていました（笑）

青年農業者の仲間にアドバイスをもらいながら自宅付近の畑でさまざまな野菜を育てています。養豚で出る堆肥を用いた野菜部門を立ち上げて、蔵川産の豚肉と野菜を提供するなんてことも妄想したりしています。



同業者の集まりが面白い

養豚や出荷の系統の違いや病気の感染拡大の問題で、同業者で集まることはほとんどありません。コロナ禍以前には、一度南予の同業者で家畜保健所主催の交流会があったのですが、その交流会で各養豚場による作業や経営方法の違いなどに気付いてとても勉強になったことを覚えています。

実は大洲は愛媛県で最も養豚の盛んな地域です（県内生産量第1位）。なので、みんなが繋がってよりよい養豚が出来るよう、いつか同業者の集まりが再び実現できれば良いなと思います。



も プレゼント企画

●プレゼント内容

アグルビトの生産物セットやグッズ（Tシャツなど）を
10名様にプレゼント



プレゼントイメージ

●応募期間

令和4年10月1日～令和4年11月30日

●結果発表

12月上旬にInstagram上で発表
当選者にはDMで連絡し、プレゼントを送付

応募方法

- ① Instagramで@agurubitoをフォロー
- ② Instagramで#アグルビトを付けて記事を投稿。記事は農業に関するものであれば何でもOK!
- ③ 表紙に貼付したステッカーを貼った画像の記事を投稿すると当選確率UP!!!

INFORMATION

10/10

大洲産業フェスタ

アグルビト会員の生産物や里芋の唐揚げ・オリジナルピザの販売、仙味エキス（株）とコラボしたクラフトコーラの試飲を提供する予定です。

日時：令和4年10月10日（月）

9時から15時30分

場所：愛たい菜駐車場



HP

11/26

えひめ・まつやま産業まつり

アグルビト会員の生産物や加工品を、軽トラマルシェに出店して、提供する予定です。

日時：令和4年11月26日（土）

10時から15時30分

場所：松山市城山公園



HP

CONTACT



2023年1月 第5号発刊予定



Instagram



Facebook



HP(archive)